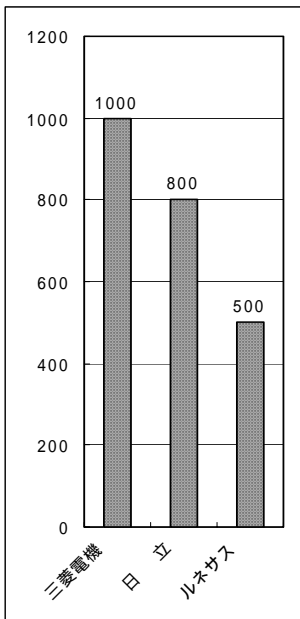


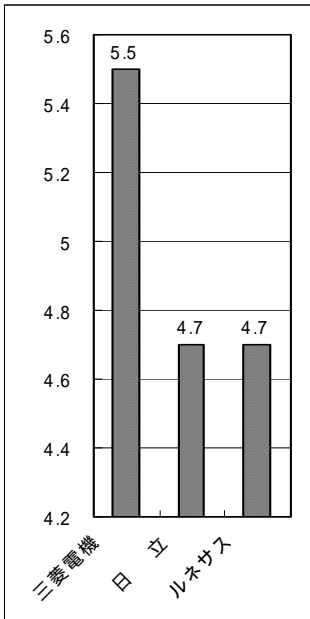
(発行)

*働きやすい職場をめざす
 (連絡先) ルネサス武蔵の会
 *東村山市恩多町3-11-18 谷口利男
 *電話・FAX ; 042-394-0937
 *メール:musashinet@jcom.home.ne.jp
 *要望・意見を気軽にお寄せ下さい。

賃上げの比較



一時金の比較



07年春闘、残念な結果に 格差がさらに広がる!

ルネサス労組として

初めての春闘

ルネサス労組結成後の初めて行なわれた春闘に多くの期待が寄せられていました。

結果は賃上げ、賃金改善額一人500円となりましたが、労使協議を経て賃金体系が決まるまで賃金に組み入れないで、6月の一時金時に「一括7600円」振り込むことで集約しました。

一時金は、年間4・7ヶ月(昨年4・55ヶ月)と対前年実績換算比増額7万3428円(5・7%)の135万4822円となりました。

職場で不満の声

職場では「たとえ500円であっても賃金に組み入れてほしい」「企業業績の割りに弱腰である」「ルネサス労組結成の『ご祝儀』もないのか」「三菱電機の10000円と5・5ヶ月に格差が広がった」「日立の5000円+3000円程度」「800円に届かなかった」「一時金の+0・15ヶ月は黒字業績の割には少なかった」などの声が出されています。

集積回路

*世界のネット利用者が前年同月比10%増の7億4700万人になった、と米調査会社のコム

スコア・ネットワークスが発表しました。同調査結果によると日本は、4%増の5367万人とのことでした。国別トップは、アメリカの1億5344万人で、伸び率トップはインドで33%増で2110万人となっています。確かに今の世の中、多くの事がサイト検索でわかる様になって便利になっていますが、それに伴う犯罪も多くなっている現実があります。職場では、対話を重視してのコミュニケーションを充実させたいものです。

電機統一闘争の強化を

07春闘の結論は「電機連合の方針変更」を受けて、回答は従来の春闘を変質させるものとなりました。

3月16日の日経産業新聞では、「電機連合1000円確保ありき?」のタイトルで報道し、記事の中で、「ペアゼ口とも取れる回答を容認した電機連合は、将来に禍根を残すことにもなりかねない」「特定層に配分が偏ることに不公平感を抱く組合員が出かねない」「これまで常識なら賃上げに該当するか疑問視される」さらに「産別労使交渉の崩壊の始まりなのか。来期以降への影響は決して小さくない」と署名入りの小論は結んでいました。

No	組合名	ペア額	是正分	合計額	昨年額	一時金額	月数	昨年
1	松下電器労連	0	1000	1000	500	業績連動	(5.36+)	
2	東芝グループ連合	500	500	1000	500	業績連動	(5.42<)	
3	富士通	500	500	1000	1000	業績連動	(4.9)	
4	NEC労連	500	500	1000	500	業績連動	(4.6)	
5	日立労組	500	300	800	500	1,409,060	4.70	4.85
6	三菱電機労組	500	500	1000	500	1,544,000	5.50	5.10
7	シャープ労組	1000	0	1000	500	1,701,258	5.30	5.25
8	富士電機グループ	500	500	1000	500	1,501,259	5.00	4.70
9	パイオニア労連	500	500	1000	500	業績連動		
10	沖電気工業	500	0	500	500	業績連動		
11	安川グループユニオン	500	500	1000	500	業績連動		

電機大手の低額回答に抗議する

電機大手はいっせいに3月14日、賃金改善を500円、1000円とする低額回答を示した。回答内容も賃上げでなく、松下電器に代表されるように1000円の原資を子育て支援に当てる、富士通は500円を原資として教育・訓練費用に当てる、とするものであり、春闘を変質させるのを狙っていることを示すものである。

電機労働者懇談会（電機懇）は、社会的責任に背を向けるこの低額回答に対して強く抗議するとともに、職場を基礎にした闘いを今後とも粘り強くすすめる事を表明する。

電機連合は、07春闘に当たり、昨年の統一闘争での反省の上に立って、定昇約2%を始め、企業間格差是正分を含めて2000円以上の賃上げを求める統一闘争をかかげて闘った。会社回答を受けて常任中闘は「回答結果は評価できる」「経営側の英断を高く評価したい」との見解を表明した。

電機大手各社は人材確保をめざして、大卒の初任給を昨年の1000円に続き今年も1500円の賃上げを満額回答としながら、一方で「業績格差」などを理由にして賃金改善額に格差を生じさせたことに強く抗議する。

電機懇は、07春闘を取り組むに当たり全国の電機の職場から「春闘アンケート」を集約した。職場からは、生活必要額の問いに対して5万円をピークにして加重平均で3万6700円となっているほど春闘に対して大きく期待をしていた。

電機大手の職場では、成果主義賃金制度の導入などにより、ペアよりも個人の成績評価に伴う賃金決定が大きく増減することもあるが、春闘の持つ重要な意義である「誰でも横並びに賃上げをする」ことを改めて認識し、闘いを強めることをここに表明する。

07年3月15日、電機労働者懇談会 / 事務局長 / 谷口利男

男女に対する差別的禁止へ

3月11日(日)、東京港区の芝公園福祉会館で電機懇と同女性部主催の「07年「改正雇用機会均等法」学習会」が開催されました。



谷口電機懇事務局長の挨拶の後、坂本福子弁護士から雇用機会均等法の改正内容・問題点・今後の課題について約1時間にわたる講義をしていただきました。その後各職場の実態報告や質疑応答を行い、最後に東電機ユニオン委員長による閉会挨拶がありました。

はじめに坂本弁護士から、今回の法改正の意義をより深く理解するためには雇用機会均等法の歴史について知る必要があります。1960年代から現在にいたるまでの雇用における男女差別との闘いの歴史を理解することが大切だとの指摘がありました。

今回の改正内容は、女性に対する差別的禁止から男女に対する差別的禁止へ、差別禁止の対象を追加・明確化、間接差別的禁止、妊娠・出産等を理由とする不利益取扱いの禁止、セクシユアルハラコメント対策の強化、ポジティブ・アクション(積極的

差別是正)の推進、過料の制裁、労働基準法の改正、にまとめられます。

全体としてより良い労働環境を実現するために行なわれたものですが、間接差別禁止の内容が限定されている、ポジティブ・アクションが義務規定になっていない、仕事と家庭の調和に配慮されていない、などの問題点が残されています。

衆議院厚生労働委員会では、間接差別に関する省令を定める場合は国会での審議内容や更なる検討結果を十分尊重すること、省令で定める物以外にも間接差別と判断されるものが存在し得ること、男女労働者双方の仕事と生活の調和の実現に向け職場環境の整備・残業抑制・有給休暇取得の促進に取

休憩室

原発は安全と思ひ込む

電力会社は事故を隠しを

今頃明らかにしたなんて

何が安全よー戦慄を覚える

都知事選の選択

都民を見くびる候補は

いやだな！

り組むこと、などが付帯決議されています。

坂本弁護士からは、ぜひ職場でこの法律を使って労働条件を良くして行って下さい。それができるのは働いているみなさん方だけですとのコメントを頂きました。今後の運動によって、法律の適用範囲をより幅広いものにして行くことが重要だと思いました。(K)

職場だより

07年春闘 がっかり

3月14日は大手17中間の会社回答日。賃上げ1000円と聞いたので楽しみにしていたら、翌日のルネサスの回答は500円。それも今年は一時的金として7600円を夏季一時金時に支給すると

07春闘の結果での昇給原資はいくらか？

ルネサスの春闘は、昨年に続き賃金改善額が500円となった。但し今年も、制度改善が決まるまで賃金には組み込まず、一時金として7600円支給されると言う。

号俸は平均で見ると55%の人が昇号するとの事であるが、金額がどのような水準なのか公表されず問題であると言える。昇号は、従来の「定期昇給」と似たような制度と言え、その平均的金額を示すことで、春闘の持つ意義が具体的に分かってくると言えるのではないかと。(T)

いうもの。号俸アップのない人には全然賃上げの実感などもでない金額である。こんなやり方が続けば、ますます皆の意識から組合なんてどうでも良いという気持ちが強まってくるであろう。M

やめてほしい 成果主義制度

3月、4月はキャリアアップの提出の月である。目標が達成されないと格

下げもありうると思わされてるものだから、目標を達成してない人は必死でパソコンに向かつて資料作りをしている。職場の仕事は一人一人の仕事が別れているわけではなく、みんなで生産をしている。生産におわれれば、生産など

気にせず自分の課題を夢中でやっている人もいる。こんな状態で職場に矛盾が生まれないわけがない。評価するほうも、されるほうも大変な今のやり方の成果主義制度はやめてほしい。H

三菱電機・日立と 違いすぎて問題

今年の春闘はルネサス労組として始めての取り

絵手紙でご挨拶



組みであり、期待をしてきたが結果は残念な内容となりました。従来のRHとかRMの区分をする必要はありませんが、せめても賃上げや一時金の水準を移植した社員の気分や感情に対する配慮がなかったのかと思うのです。営業利益を上げていく経営実績からしても納得が行くものではありませんでした。(Y)

編集後記

07春闘の経過と結果が分かっていくにつれて、たとの声が寄せられていきます。会社が賃金制度を変えたいと思っただけで、今年の結論は賃金に組み入れるべきではないのか、残念でたまりません。(T)